

日時

H25.10.25

場所

名古屋商科大学 講義室

講師：ハッピーマップ（ボランティア団体）担当 浅井さん

内容：肢体障害を知る



肢体不自由な障害を持った人の話を聞く



生まれて今までのお話。リハビリをして今がある



車いすの使い方の説明



介助の方法（階段などでは助け合って4人で運ぶ）



大学内で車いすを使用してみる



トイレは狭すぎて入り辛い

日時

H25.10.25

場所

名古屋商科大学 講義室



ビデオ（ハッピーウォーク・メディアコンテ）を見る

☆障害を持った人の暮らしを見る

☆科学館へ行き、トイレの操作盤が車いすに乗ってると届かないなど使い勝手の悪い施設の検証



障害を持った人とふれあい感じたことをまとめる



各グループごと発表する

#### 学生の感想

◎障害者の方は、障害になっても前向きな考えをされていて素晴らしい。

◎百聞は一見にしかず：車いす体験をして車いすの方がどれだけ大変かが良くわかった。

障害者の方に対して気持ちのすれ違いや恐怖心があったが、実習を通してちょっとした気持ちで介助でき、車いすの方には介助する人が必要なんだということがわかった。

◎大学内について、バリアフリーの改善をすべきだと思った。車いすでトイレに入れない。

階段が段差が多すぎて移動が困難である。もっと障害者に優しい社会にしたい。

◎今日の講師の方々には障害者でありながら生き方が素晴らしい、社会貢献している。

環境を変えるのは難しいが、サポートすれば助けになり、行動しやすくなるので、積極的にサポートしていくことが大事だと思った。人の力でサポートができるのだから・・・